

五話

おらの湯の沢にある松は、伊勢参宮の松だといつてな、上方参りに行つた松だど。その松の木はしやな、お松という名前ついでいて、その木の下にまた、お玉という、大きな玉石あつたものな。固い固い、まん丸い石であつたものな。

そのお松とお玉どしや、伊勢さお参りに出かけて行つたわけだア。そしたば、はたごや（旅館）から、礼状きたもんだけぞつたア。その礼状でもものあ、はたごやにお松とお玉が泊まつたどいうものであつたど。お松とお玉は、人の姿になつて、伊勢参りに行つたものであつたべねエ。それがら、その松は、伊勢参宮の松と言われるよりになつたもんであつたけど。